

## 【神武寺】 (医王山来迎院、天台宗)

神亀元年(724)に聖武天皇が行基に命じて造営させたとの伝えをもち、標高80mを越える山の頂にあり豊かな森に囲まれた古刹。

**本堂(薬師堂)**: 寛文六年(1666年)に再興されたとみられ、桁行3間、梁行3間の正方形で、寄棟屋根がかけられ、平成4年(1992年)の大修理で、茅葺きから茅葺形銅板葺に改修。

**本尊**は木造薬師如来坐像。本開帳は33年に一回で次回は2017年。ただし毎年12月13日の「お煤払い法会」には開帳。

**鐘楼**は安政3年(1856)の建造、逗子八景の一つ「神武寺の晚鐘」

**なんじゃもんじゃの木**: 樹齢400年の神奈川の名木に指定。「なんじゃもんじゃ」その地方ではあまり見ないため、珍しい・正体不明という意味で、ここでの樹種はホルトノキ。(モガシとも呼ばれ、暖かい地方の海岸に近い山林に自生している常緑樹)。

## 【鷹取山】 (標高139m)

明治から昭和の初期に石材を採取、垂直に切り立った岩石が特徴で「湘南妙義」の別名がある。展望台のある親不知が山頂で、磨崖仏がある前浅間などを総称して鷹取山と呼ぶ。地名はこの由来は、太田道灌が鷹狩りをしたからとか、高いところを意味するとか、諸説有り。

**磨崖仏**: 逗子市の川口満氏の依頼により、彫刻家藤島茂氏が昭和40年頃に製作。高さ約8m、幅約4m方形の岩に両足を組んだ弥勒菩薩尊像。

**地層**: 三浦層群池子層: 火砕岩(火山砕屑岩)や凝灰質シルト岩の堆積地層

**\*\* 神武寺駅から金沢八景駅までの上り線は線路が3本 \***  
東急車両で製造されたJR車両をJR逗子駅に輸送する為に、JR、京急の両方の車両が通れるように線路が3本引かれている。

**\*\* 神武寺駅**: 開業当時は無人駅で現在より約300mほど六浦駅寄り、昭和19年に現在に場所に移転。現在の駅舎は平成19年3月に建て直された。